

2025 R7年度



京都大学 理学研究科・理学部
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE
FACULTY OF SCIENCE
KYOTO UNIVERSITY

サイエンス連携探索センター
広報・社会連携部門

社会交流学生スタッフ募集

科学者が自らの研究を社会に伝えることの重要性が多く唱えられています。理学部1回生のみなさんにも、理学についての学びを深めるだけでなく、理学を社会に伝えるための知識を身につけ、さらには、理学を社会に伝える経験を積んでいただきたいと思います。

今年度は、高校生による探究活動に対する指導、大学生の皆さんも参加者となって高校生と理学にまつわる探究活動を行うことを予定しています。

社会交流学生スタッフとなることで、大学生スタッフ同士も、互いの専門分野を超え、理学の内容についての理解を深めることができます。また、理学以外の一人暮らしの日常生活に関する、たとえば、料理や掃除に関することも先輩たちに相談することができます。また、オンラインでは、ラジオのように会話を聴いているだけという参加の方もいます。ぜひご参加ください。

社会交流学生募集 WEB サイト

■活動日時

研修日時：毎週金曜日 18 時～ 20 時半。

4 月は、4 日、11 日、18 日、25 日。
(途中の入退室 O.K です。)

研修場所：オンライン→Zoom

現地→総合研究 5 号館 地下 1 階
B14 学際社会交流室

研修内容：これまでの活動内容をお知らせいたします。
イベント：主に土・日・祝日。平日 16 時半から 17 時半。

謝金等：イベント日には給与・謝金等を支給。
活動時間は事業によって異なります。

単 位：単位の認定はされません。

備 考：研修には、年に 1～2 回以上の参加で O.K。

※4 月中は新入生歓迎で
ピザか寿司がでます→
新入生は無料です。



■定期研修

週 1 回開催で通算 572 回を数えます。理学部の新 2 回生から、修士課程、博士課程 3 年生までの先輩たちも参加しています。同級生との横のつながりに加え、先輩との縦のつながりもつくりましょう。

■定期研修オンライン

Zoom で下記におつなぎください。

ミーティング ID: **** * *

パスコード: **** * *

■今年度の主な活動予定

小学生向けイベント

7 月 19 日 (土)

偏光板の筒づくり@上賀茂神社アートプロジェクト 世界遺産で科学！

8 月 25 日 (月)・26 日 (火)

丹波篠山キッズサイエンス教室 1 泊 2 日

9 月 2 日 (火) おもしろ科学体験・4 次元デジタル宇宙シアター@久御山町

・高校生の探究活動へのアドバイス

内 容：探究活動へのオンライン指導

対 象：主に SSH 指定校の高校生

時 間：1 校当たり、1 回約 2 時間で、年数回。

・高校生とともに探究活動

内 容：高校生と一緒に理学の探究活動

対 象：高校生

時 間：月 2 回。平日 16 時半から 17 時半。



理学を伝える

■活動までの流れ：

1. 下記「申し込み」でメーリングリストに登録
2. メーリングリストのメール記載の情報を元に都合の良い日時のイベントに応募。
3. 謝金・給与等の支払い手続き
4. イベント当日に活動

メーリングリストに登録しても、義務は発生しませんので、お気軽にご登録ください。

■お申し込み：

下記の情報を apply@cr.sci.kyoto-u.ac.jp までお送りください。

1. 氏名
2. 氏名フリガナ
3. 学年
4. 連絡先メールアドレス

※申込を受け付けましたら、返信メールをおくりしますので、連絡先メールアドレスを携帯電話にする場合はドメイン cr.sci.kyoto-u.ac.jp からのメールを受信できるように設定をお願いします。
週に 1 回程度メーリングリストでメールを配信します。
※1 日 1 回ぐらいいは、メールを確認するようお願いいたします。

■問い合わせ先：

理学部・理学研究科サイエンス連携探索センター
(略称：SACRA) 広報・社会連携部門
常見 俊直 (つねみ としなお)

メール：tsunemi@sci.kyoto-u.ac.jp

場所：理学研究科 1 号館 229 号室

開室時間：10 時～ 16 時

■現地 定期研修場所



総合研究 5 号館地下 1 階 B14
学際社会交流室が現地開催場所です。

1回生向け 講義紹介

理学と社会交流 I

Science and Community Outreach I

●開講時間 前期 金曜日5限(16:45-18:15)

●場所 理学研究科6号館304号室

●授業形態 理学部専門基礎科目 2単位

ご入学おめでとうございます！

理学をこれからみなさんが学んでいかれるにあたり、学びの環境である京都大学や京都について、一緒に学んでいきませんか？京都大学や京都について調べたことを互いにプレゼンテーションしてみましょう。また、発表準備することでプレゼンテーション技術を身に付けましょう。

この講義では、前半では、京都大学や京都に関することを学び、後半では、社会を統計や数理的な視線で捉える手法を学びます。希望者には、各人のコンピュータで、コンピュータ言語のPythonを用いてグラフをつくる方法をお知らせします。

履修をお待ちしております。履修登録時は、「理学と社会交流I」は、理学部科目であることに注意して探してください。

●授業の概要・目的

京都大学理学部の学生が自らの知識や研究をどのようにして社会に伝えるか？そのために必要な様々な手法を講義する。また、理学部の学生として必要な心構えについても講義する。

京都の地理、歴史、企業を知り、京都で学ぶ意義について考える。

受講生主体によるプレゼンテーションとフィールドワークを実施し、それらの技術向上を図る。

講義内容はその他、統計学、社会ネットワーク、人工知能など、多岐に渡る。幅広い知識、教養を得るためにも是非受講されたい。

●授業計画と内容

講義当初は、既存の社会交流活動の紹介を行う。

さらには、受講生自らが参加した社会交流活動の体験・経験をもとにグループワークおよび議論を行い、まとめを行う。

講義当初は、既存の社会交流活動の紹介を行う。

1. 講義の概要説明
2. 統計情報や歴史で見る京都大学
3. 京都の地理、歴史、企業など
- 4-5. 京都をテーマとしたプレゼンテーション、準備
6. 社会で扱う統計、用語解説。統計情報の計算方法
7. 最小二乗法
8. 主成分分析
9. 社会ネットワーク分析
10. ニューラルネットワーク、深層学習概要
- 11-13. プレゼンテーションの手法、実習
14. まとめ

※11-14の実施時期は流動的である。

●講 師

・ 理学研究科

准教授 常見 俊直

大学の講義室だけでなく、大学外にでて、京都のことを知ろう。京都での学びがさらに深まると思います。



●関連URL情報

京都大学理学研究科サイエンス連携探索センター (SACRA)
広報・社会連携部門
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/divisions/sacra/publicity/>

●参考書情報

現代の事例から学ぶサイエンスコミュニケーション
科学技術と社会とのかかわり, その課題とジレンマ
ジョン・K・ギルバート (著, 編集),
スーザン・ストックルマイヤー (著, 編集),
小川義和 (監修, 翻訳) 加納圭 (監修, 翻訳), 常見 俊直 (監修, 翻訳)
ISBN-10: 4766422031